



特集

組織のダイナミクスを 解明する質的研究

組織と個人に, 変革と幸せをもたらす「知」を届けるために

2015 年度に武村雪絵氏が東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻看護管理学分野に着任して以来、武村氏の研究室では、「働く人や組織が潜在的に持つ力を引き出すこと」、ひいては「患者と看護職およびその他の医療従事者、組織や社会全てとその未来に幸せをもたらすこと」を探究してきた。

それに向けて、さまざまな研究アプローチによって組織現象を紐解き、組織の発展・活性化の動力源を明らかにし、現場に還元していくことを目指している。

2019 年には、看護師長のビジョンが組織に与える活力に着目し続けてきた研究室員の磯部環氏による論文が国際誌 “Journal of Nursing Management” に採択、公表された。本特集では、看護師長へのインタビュー調査をもとに看護師長のビジョンの言語化と明確化に取り組んだ同研究を紹介する。続いて武村氏から、組織を動かす動力源となりうるビジョン、ミッションやバリューを看護管理者が明確にすることの意味を提示する。さらに研究室員による座談会を通じて、臨床看護師と研究者の協働により現場のダイナミクスを解き明かす質的研究の意義、研究成果が現場を変革する可能性について論考する。

